

部局名	産業活力部	所属名	農業研修センター	所属長名	鈴木 孝行	電 話	450-4645
-----	-------	-----	----------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3271		事務事業名称	農業研修センター運営事業					短縮コード	経常	3271	臨時	3602
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	07	農業センター費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市農業研修センターの設置及び管理に関する条例・八千代市農業ボランティア養成講座実施要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
当施設は、昭和59年4月に農業に関わる各種研修会等の開催や農家と都市住民の交流促進などを通じ農業振興を図ることを目的に開設された。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして						
農家、農業従事者の減少は今後も続くと推測され、それに伴い農家等の施設利用も減少すると考えられる。					大項目（節）	01	農業						
					中 項 目	01	農業						
					小項目（施策）	02	農業経営体の育成						
					細 項 目	01	営農・経営支援体制の強化						
				実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	研修センター及び利用者：1.利用許可を受けた者 ① 農業従事者、農業関係団体、農業後継者。② 農業に関心を寄せる市民。農業ボランティア養成講座等の者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： ・施設利用申請許可 ・各種研修会，プラン作成，案内 ・農業ボランティア募集，養成講座の開催，認証 ・認証農業ボランティアと受け入れ農家間の調整 ・農業女性セミナー，農業教室の開催 ・農業とくらしのシンポジウムの開催							
	※平成19年度に計画していること： 前年実績に加えて農業従事者向けに，地域農産物加工教室と起業を目指す商品づくり教室を開催予定							
意図 （何を狙っているのか）	・都市と農村の交流による地元の情報発信 ・農業後継者の育成							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	研修センター利用者数	人	13,693	14,000	15,341	14,000	
	指標 2	市内の受入れ農家数	戸	10	11	11	11	
	指標 3	農業ボランティア登録者	人	189	226	211	230	
活動指標	指標 1	利用許可数（多目的ホール・1F和室・洋会議室・料理実習室・	件	661	633	784	700	
	指標 2	市民向け教室・講習会の回数	回	64	62	52	50	
	指標 3	農業従事者向け研修・農業ボランティア養成講座の回数	回	186	162	153	150	
成果指標	指標 1	教室・講習会の延べ参加人数	人	1,202	503	587	500	
	指標 2	農業従事者向け研修等の延べ数	人	1,959	1,334	1,317	1,350	
	指標 3	農業ボランティア認証書を授与した者の延べ数	人	189	226	211	230	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3271	事務事業名称	農業研修センター運営事業			所属名	農業研修センター
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0			
		県	千円	0	0			
		地方債	千円	0	0			
		一般財源	千円	8,368	5,154	8,203	7,244	
		その他	千円	22	328	24		
	主な事業費の内訳			報酬2436賃金2060委託料1588千円、使用料等293千円、備品購入費290千円	賃金977千円、報酬120千円、旅費11千円、消耗品143千円、燃料費51千円、印刷製本費5千円、光熱水費1283千円、修繕料100千円、通信運搬費157千円、保険料21千円、委託料2132千円、使用料等293千円、備品購入費371千円	報酬2436千円、賃金951千円、報償費85千円、消耗品133千円、燃料費56千円、光熱水費1115千円、修繕費100千円、通信運搬費150千円、保険料45千円、清掃委託料467千円、機械警備委託料99千円、電気工作保安委託料110千円、電子コピー保守	報酬2436千円、報償費240千円、旅費11千円、消耗品費130千円、燃料費56千円、印刷製本費6千円、光熱水費1213千円、修繕料230千円、通信運搬費393千円、保健料87千円、委託料1954千円、備品購入費190千円	
	人件費(B)			千円	18,363.9	23,084.6	20,986.6	23,011.6
トータルコスト(A)+(B)			千円		26,753.9	28,566.6	29,213.6	30,255.6

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☐ 結び付いている	都市型農業振興の展開が多様化する中で、この事業によって活気のある農村起業活動と農業技術・農業経営向上等へ支援することで経営体の育成に結び付けられる。				
			☒ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	多様化・変化する消費者ニーズや社会的要求を適格にとらえ農業振興に反映される。				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	この事業は、八千代市農業の政策的な役割を担っている。				
			☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい	所期目的の変更は無い、しかし時代に伴い農業のあり方が変化しており、その動向を把握しながら対象等について見直す必要がある。				
			☒ 見直す必要がある					
☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２、３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある					
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☒ 両方可能性がある					
			☐ 可能性がない					
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等	・施設の有効利用の観点から対象の見直しについて検討したい。・受益者負担の見直しを検討したい。					
								☐ 臨時的任用職員等の活用
								☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し
								☐ 受益者負担の見直し
								☐ 類似事業との統合・役割見直し
								☒ 上記以外の方法
								⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）
	☐ ない							

コード	3271	事務事業名称	農業研修センター運営事業				所属名	農業研修センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			本市の農業は今後、農業経営の多様化が進むものと考えられるので、研修会等の施設運営は個々の経営体別にきめ細かい対応を行って行く。又、身近な生産地として消費者等に理解を深めてもらうため、交流事業等も推進して行く。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			運営内容の見直しによる成果の向上を図る。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☒	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・施設設置目的以外の利用が増えており、将来の農業振興につながる運営を検討すべき。 ・市の農業振興施設（研修等）としては唯一の施設であり、存続して欲しいとの農家の要望あり。									

所属長コメント	本市の基本的な土地利用計画の堅持と農業振興を図るための施設運営を行う。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			対象・意図の見直しにより事業目的を明確にして、改革改善を積極的に推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									